

PPDM を構築してみた 1

(デプロイ編)

はじめに

最新のワークロードをサポートする PowerProtect Data Manager。

Dell Technologies がゼロから開発し、2019 年にリリースされたバックアップソフトウェアをご存知でしょうか。

ここでは、PowerProtect Data Manager（以降 PPDM）の構築手順をいくつかのフェーズに分けてご紹介させていただきたいと思います。

PPDM は vSphere の ova 形式で提供されており、デプロイすると自動的に 90 日の評価ライセンスが適用されます。

90 日以上利用する場合は、正規ライセンスを購入いただくか、すべて削除したうえで再構築頂く必要がございます。

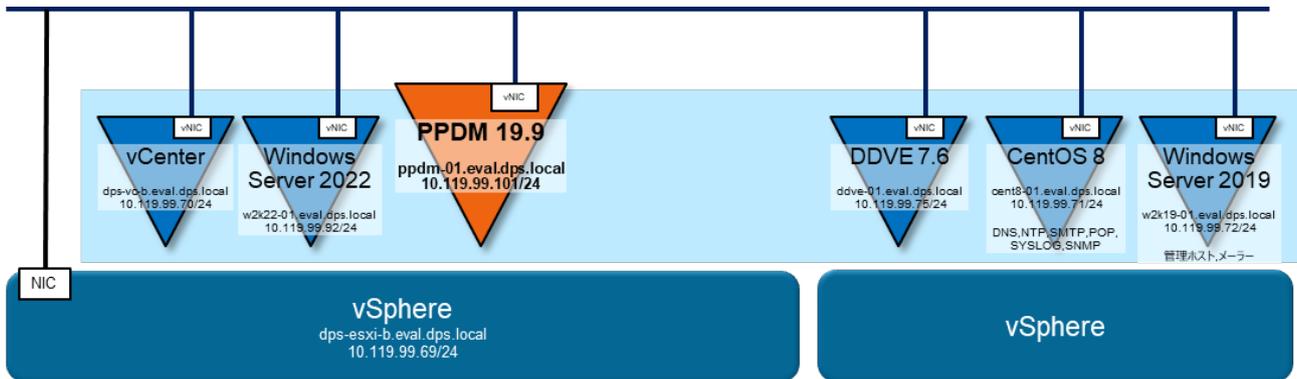
また PPDM は PowerProtect DD System とインテグレートすることにより、より堅牢で拡張性の高いシステムを構築することができます。

前提条件

このガイドでは、vSphere に dellemc-ppdm-sw-19.9.0-19.ova を導入する手順を説明しています。

構築環境

このガイドでは、以下の環境に PPDM を構築いたします。



事前準備

導入する PPDM のバージョンを確認し vSphere や vCenter など、関連するリソースとの Compatibility を確認してください。Compatibility は Dell サポートサイトの Support Matrix から確認できます。

関連するすべてのリソースにおいて、DNS サーバーで正引き/逆引きできるように登録して下さい。

関連するすべてのリソースにおいて、NTP サーバーで時刻同期できるように設定して下さい。

ソフトウェア

※ ダウンロードにはサポートサイトのアカウントが必要です。

• dellemc-ppdm-sw-19.9.0-19.ova

[Download Site URL]

https://dl.dell.com/downloads/DL106136_PowerProtect%C2%A0Data%C2%A0Manager%C2%A019.9%C2%A0Install%C2%A0OVA.ova

[SHA256 Checksum]

542de0bf07e69cd1ea162dd8c529ff4c8d9df5bfbc0525d6dcf8389336c283a

※ ダウンロード後 Checksum が正しいことを確認し、zip を解凍して下さい。

設定値

ここでは、以下の値で設定することを前提で記述いたします。環境に合わせて変更して下さい。

PPDM	10.119.99.101	ppdm-01.eval.dps.local
ネットマスク	255.255.255.0	
ゲートウェイ	10.119.99.1	
DNS	10.119.99.71	cent8-01.eval.dps.local
NTP	10.119.99.71	cent8-01.eval.dps.local
Network	VM Network	
Datastore	datastore1	
Linux 管理者ユーザー / パスワード	root	Passw0rd!
PPDM 管理者ユーザー / パスワード	admin	Passw0rd!

DDVE	10.119.99.75	ddve-01.eval.dps.local
管理者 ユーザー / パスワード	sysadmin	Passw0rd!
ddbboost ユーザー / パスワード	ddbuser	Passw0rd!
SNMP コミュニティ名	public	

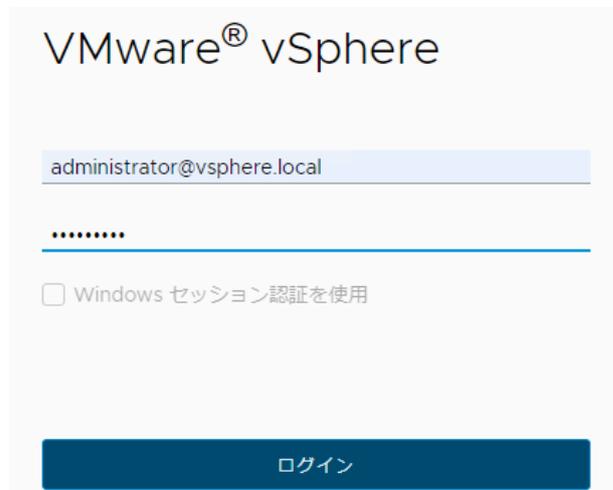
メール (SMTP) サーバー	10.119.99.71	cent8-01.eval.dps.local
管理者 メールアドレス	mailuser@cent8-01.eval.dps.local	
ポート番号	25	
ユーザー名	mailuser	
パスワード	Passw0rd!	

vCenter	10.119.99.70	dps-vc-b.eval.dps.local
管理者ユーザー / パスワード	administrator@vsphere.local	Passw0rd!
ESXi	10.119.99.69	dps-esxi-b.eval.dps.local
管理者ユーザー / パスワード	root	Passw0rd!

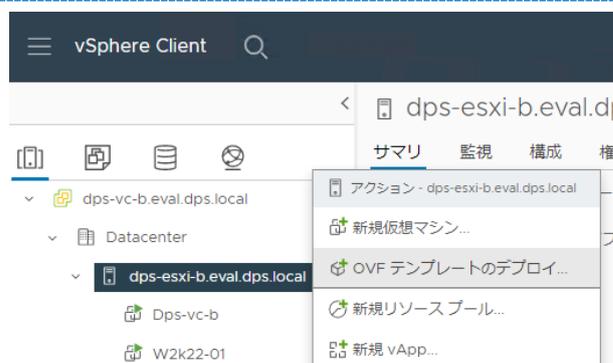
1. デプロイ

1-1. PPDM のデプロイ

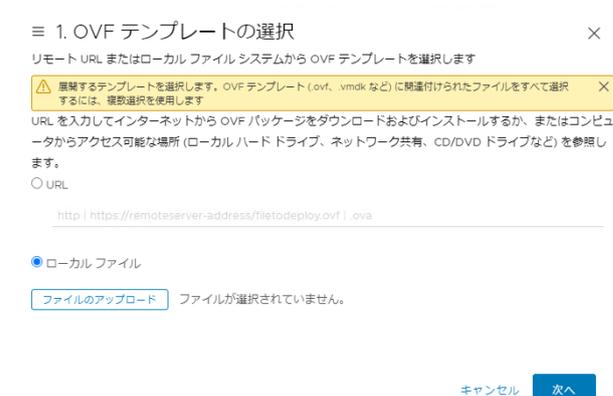
- 1 ブラウザを起動し、vSphere Client にアクセスします。
管理者アカウントでログインして下さい。



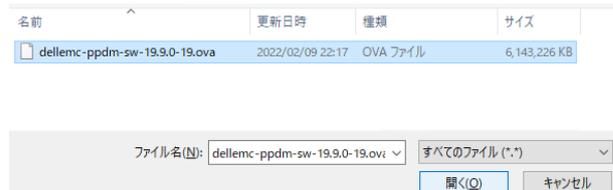
- 2 デプロイする ESXi を選択し、サブメニューから **OVF テンプレートのデプロイ** をクリックします。



- 3 **ローカルファイル** を選択し、**ファイルのアップロード** をクリックします。



- 4 ダウンロードした **dellemc-ppdm-sw-19.9.0-19.ova** ファイルを選択し、**開く** をクリックします。



5 **dellemc-ppdm-sw-19.9.0-19.ova** ファイルが
選択されていることを確認し、**次へ**をクリックします。

≡ 1. OVF テンプレートの選択 ×

リモート URL またはローカル ファイル システムから OVF テンプレートを選択します
URL を入力してインターネットから OVF パッケージをダウンロードおよびインストールするか、または
コンピュータからアクセス可能な場所 (ローカル ハード ドライブ、ネットワーク共有、CD/DVD ドライ
など) を参照します。
 URL

ローカル ファイル

dellemc-ppdm-sw-19.9.0-19.ova

6 **仮想マシン名:**を入力し、**次へ**をクリックします。

≡ 2. 名前とフォルダの選択 ×

一意の名前とターゲットの場所を指定します

仮想マシン名:

この仮想マシンの場所を選択してください。

▼

7 コンピューティングリソースを選択し、
次へをクリックします。

≡ 3. コンピューティング リソースの選択 ×

この操作のターゲットコンピューティングリソースを選択します

▼

>

互換性

✓ 互換性チェックは成功しました。

8 **証明書を信頼できません。**で**無視**をクリックし、
次へをクリックします。

≡ 4. 詳細の確認 ×

テンプレートの詳細を確認します。

発行者	Entrust Code Signing CA - OVCS1 (無効な証明書)
製品	Dell EMC PowerProtect Data Manager
バージョン	19.9.0-19
ベンダー	Dell EMC
ダウンロード サイズ	5.9 GB
ディスク上のサイズ	4.7 GB (シン プロビジョニング) 620.9 GB (シック プロビジョニング)

- 9 **VMware (on-premises/hybrid)**を選択し、
次へをクリックします。

≡ 5. 設定 ×

デプロイ構成を選択します

<input checked="" type="radio"/> VMware (on-premises/hybrid)	説明 Deploy PowerProtect Data Manager in your new or existing vSphere/vCenter infrastructure. NOTE: This includes VMware Cloud Foundation, if applicable.
<input type="radio"/> VMware Cloud on Amazon Web Services	
<input type="radio"/> VMware Cloud on Dell EMC	
<input type="radio"/> Azure VMware Solution	
<input type="radio"/> Google Cloud VMware Engine	

5 個のアイテム

キャンセル 戻る 次へ

- 10 デプロイするデータストアにチェックを入れます。
仮想ディスクのフォーマットで
シックプロビジョニング (Lazy Zeroed) を選択します。
※ 仮想マシンストレージポリシーは、環境に合わせて変更して下さい。
この仮想マシンの Storage DRS の無効化に
チェックを入れ、**次へ**をクリックします。
※ サポートされている仮想ディスクのフォーマットは
シックプロビジョニング (Lazy Zeroed) ですが、
シンプロビジョニングで構成することもできます。
サポートされた構成ではないこと、パフォーマンスに影響が出る
可能性があることを注意のうえご検討下さい。

≡ 6. ストレージの選択 ×

設定およびディスク ファイル用のストレージを選択します

この仮想マシン (キー管理サーバーが必要です) を暗号化

仮想ディスクフォーマットの選択 **シックプロビジョニング (Lazy Zeroed)** ▾

仮想マシンストレージポリシー **データストアのデフォルト ポリシー** ▾

この仮想マシンの Storage DRS の無効化

名前	ストレージ 互換性	容量	プロビジョ ニング 済み	空き容量
<input checked="" type="radio"/> datastore1	--	2.6 TB	721.4 GB	2.42 TB
<input type="radio"/> DD2200-L_NFS	--	6.83 TB	170.74 GB	6.66 TB

2 個のアイテム

互換性

✓ 互換性チェックは成功しました。

キャンセル 戻る 次へ

- 11 ターゲットネットワークを環境に合わせて変更し、
次へをクリックします。

≡ 7. ネットワークの選択 ×

各ソースネットワークのターゲットネットワークを選択します。

ソースネットワーク	ターゲット ネットワーク
VM Network	VM Network ▾

1 個のアイテム

IP アドレスの割り当て設定

IP アドレスの割り当て: 静的 - 手動

IP プロトコル: IPv4

キャンセル 戻る 次へ

12 Network IP IPv4 Address と Default Gateway、
NetWork Netmask、DNS、FQDN を入力し、
次へをクリックします。

8. テンプレートのカスタマイズ

このソフトウェアソリューションのデプロイプロパティをカスタマイズします。

すべてのプロパティに有効な値があります

Networking Properties 3 設定	
Network IP Address	Specify the IP address for this virtual machine. 10.119.99.101
Default Gateway	Specify the default gateway address for this virtual machine. 10.119.99.1
Network Netmask	Specify the netmask for this virtual machine. 255.255.255.0
DNS Settings 2 設定	
DNS	Specify up to three domain name servers for this virtual machine, separated by commas. 10.119.99.71
FQDN [e.g. hostname.domain]	Specify the fully qualified domain name for this virtual machine. ppdm-01.eval.dps.local

キャンセル 戻る 次へ

13 設定を確認し、完了をクリックします。

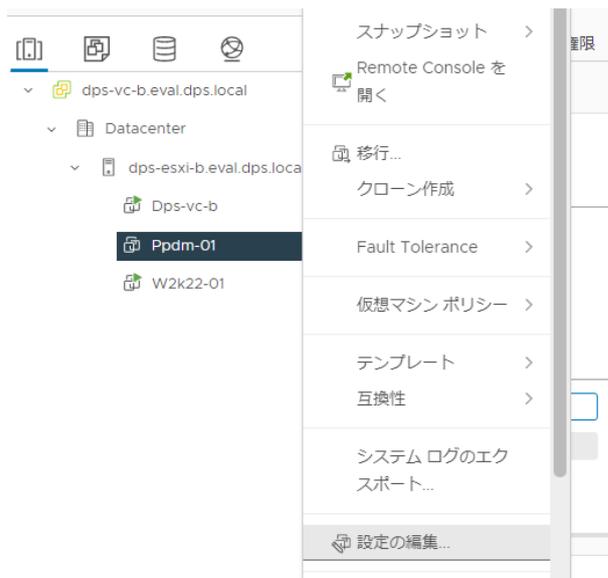
9. 設定の確認

選択内容を確認してからウィザードを終了してください

名前とフォルダの選択	
名前	Ppdm-01
テンプレート名	powerprotect
フォルダ	Datacenter
コンピューティングリソースの選択	
リソース	dps-esxi-b.eval.dps.local
詳細の確認	
ダウンロードサイズ	5.9 GB
ストレージの選択	
ディスク上のサイズ	620.9 GB
ストレージのマッピング	1
すべてのディスク	データストア: datastore1、形式: シック プロビジョニング (Lazy Zeroed)
ネットワークの選択	
ネットワークのマッピング	1
VM Network	VM Network
IP アドレスの割り当て設定	
IP プロトコル	IPv4
IP アドレスの割り当て	静的 - 手動
テンプレートのカスタマイズ	
プロパティ	Network IP Address = 10.119.99.101 Default Gateway = 10.119.99.1 Network Netmask = 255.255.255.0 DNS = 10.119.99.71 FQDN [e.g. hostname.domain] = ppdm-01.eval.dps.local

キャンセル 戻る 完了

- 16 デプロイした PPDM を選択し、サブメニューから設定の編集をクリックします。



- 18 仮想マシンオプションタブの **VMware Tools** を展開します。

時刻同期では NTP を利用するため、**起動時および再開時に同期 (推奨)** のチェックを外し、**OK** をクリックします。

ここまで終わったら VM の Snapshot をとりましょう。
vSphere Client から VM の Snapshot を作成して下さい。
※ PPDM では VM の Snapshot を公式にサポートしておりません。
VM の Snapshot は、お客様の責任範囲でのご利用となります。



- 19 デプロイした PPDM を選択し、サブメニューから電源を選択、パワーオンをクリックします。



- 20 PPDM が起動することを確認します。

